

ユーモアスピーチ船橋

2023 (R5) 年 12 月 14 日発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

203 回船橋ユーモアスピーチ

2023 年 12 月 14 日 (木) 3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「1 年を振り返って」
「自由題」「失敗談」

ロングスピーチ

関岡 直樹生さん：「健康な暇つぶしのご紹介」

佐々木 由美子さん：「小さな森のお話」

11 月 9 日の参加者：松永、川田、安達、佐々木、長井、
工藤、原田、後藤、山田、中久木、小林、町田、植野、
長嶋 14 名

主催：NPOシニア大楽
ユーモアスピーチ共和国・船橋支部
支部長：長嶋秀治 043-261-5832
発行者：長嶋秀治
編集&事務局：町田雅和
267-0066 千葉市緑区あすみが丘
5-26-7 T/F 043-294-2911
mac555new@ybb.ne.jp
参加費 500 円 (入会金 1000 円)
見学科 1 回無料
開催日と場所 (原則)
毎月第②木曜日 15:15~17:30
会場 船橋中央公民館 第 8 集会室
5 階

前回のロングスピーチ (11 月 9 日)

「酷暑でモミジが枯れた」

植野 晏生さま

今年は夏が長かったですね。おかげで 40 年間以上丹精を込めて育ててきたモミジ等が枯れました。結局は水遣り等の園芸の基礎がなかったわけであるが。枯れたものの中には箒仕立ての檜など



貴重な小品盆栽も含まれる。隣のマンションに住む長女は園芸を趣味とするものの私の草木の園芸には興味がなくもっぱら野菜の栽培に特化していて、私の死をもって私の園芸コーナーは全滅しそうなので私の体力の衰えに伴って消滅させてもやむを得ないのだろう。



前回のロングスピーチ (11 月 9 日)

「ネパール…コブ・こぶ・鼓舞の旅」

中久木 一乗さま

2018 年 3 月、①世界最高峰のヒマラヤ山系を間近に見ること ②約 120 年前に仏教の真髓を求めてチベットへ密入国した河口慧海(カグチカウ)僧侶の足跡を訪ねること、③約 100 年前にネパールで修業し後に天風会(テンプカウ)を創始、心身統一法を広めた中村天風氏の修業の足跡(ゴルケ村)を訪ねること。以上を目的に「棚沢成明氏」を顧問に 14 人のツアーに参加。コブだらけの道を 4WD で走った 11 日間のツアーで 頭には(天



井にぶつけた) 多数こぶを、心には天風氏、慧海氏そして柳沢氏の人物に鼓舞された「気」を身に着けた旅でした。

☆ 今回のツアーで、中久木の特に感じたこと

○ 82 歳の糊沢顧問の冷静な企画力とエネルギーな行動力で、素晴らしく濃いツアーでした。 ○ 参加者 14 名の、個人的ツアーで、いわゆる観光ツアーでなく地に足のついた満足の旅でした。 ○ ジョムソン⇒ポカラのフライトの欠航(これも想定内?なのも凄い) 以外は、とても順調な旅。 ○ 天候良し、皆健康で怪我もなし。毎日が楽しい旅でした。 ○ (2カ所以外) 受動喫煙はなく、実に安心・快適。(室内禁煙の法律があるとは、あとで知った)。 ○ 糊沢さん設計のホテル・ロジは3つとも快適。感謝! 設計というモノに興味を湧きました。 ○ ヒマラヤの景観は素晴らしかった。地殻変動の悪戯とはいえ、神々しく美しく、感動的でした。 ○ 夜は澄んだ空気と闇夜の中、大きな、明るく輝く 満天の星が 降ってくるように感じました。 ○ 凸凹道と河原道の4WD 旅は、思い出に残る悪戦苦闘?。舗装道路後では案外つまらないかも。 ○ ゴルケ村は、素朴で素敵な田舎。河原にあるオラピンダの大巨石は想像以上の大偉力を感じた。 ○ 凶らずも私は現地の小学生にマジックを披露でき記念になった。純真な目がとても綺麗でした。

3 分間スピーチダイジェスト テーマ 「言葉」「味覚」

工藤 文夫:「味覚」

昨今の値上げラッシュで、さすがの儉約家の私でも、価格の安いPB商品を、購入する機会が増えました。しかし、想像以上に、老化しているせい? せいか、あまり気にならない自分に”ビックリ!!” しました。醤油・味噌・マヨネーズをはじめ、酢・油・ケチャップもなんとか耐えられ、あれほどうるさかった「めんつゆ」も蕎麦のつけ汁以外の、うどん汁もOk!! さすがに、ソースは×、最後の砦のカレーも、IY・CGCのPBはクリヤーで節約につとめています。

中久木 一乗:「SDG s」持続可能な開発目標」

人類は約20万年前に誕生後、特に産業革命以降は、急速に進歩発展を続けてきたが、それとともに、地球環境を破壊するような多くの問題も生じ、2015年9月に、2030年までに達成すべき17の目標として「SDG s」:「持続可能な開発目標」を国連総会で採択した。この目標の趣旨は「開発」という日本語に惑わされがちだが、いわば地球の存続問題と考えられる。17条の目標の①は、貧困をなくすこと。②は、飢餓をなくすこと。そして③には、健康と福祉を取り上げている。この17カ条は地球とそこに住む生物の恒久平和のための、大変重要な目標と考えられる。

町田 雅和:「言葉」

小学校の低学年の前でマジックをする場合、分かりやすい言葉で解説することはとても大事です、何しろ身近な材料での手作りマジックなので説明が無いと不思議さが伝わりません。例として「11月になって、今年の干支のウサギも疲れがたまり上手く飛ばません、でも大好物の人参を食べると、元気になってクルクル良く回ります」、というマジックを披露しました。

植野 晏生：「味覚」

今月のテーマは、「味覚」就中「秋の味覚」です。芋・栗・サンマなど色々ありますが、「キノコ」です。50歳の時備中高梁に赴任しました。高梁野鳥の会でキノコ狩りに出かけました。営林署の専門家の助けを借り楽しくキノコ狩りができました。シメジの大株をゲットしました。皆さんキノコ狩りはよく知っている人と一緒にしましょう。タマゴタケやベニタケなど派手なキノコに食べられるものがあるものの、シメジのような地味なものの中に猛毒のものがあるなど素人では分かりません。それから食べ過ぎに注意しましょう。我々夫婦は鍋に全部突っ込み食べ過ぎ腹を壊しました。

松永成三郎：「コロナの話」

新型コロナが流行し始めてすでに4, 5年は経過しました。最近は減少傾向にあるとはいえまだ無視できない発生が現存中で、しかも最近はインフルエンザの流行も始まっています。コロナとインフルは、発熱（必発）、頭痛、全身倦怠感など共通した症状がありますが、大きく違うのはコロナには後遺症が1, 2割残るという点です。新型コロナの罹患率は約38%とされています。私も今年の2月にコロナワクチン4回をしたにもかかわらずかかりました。皆様どうかこれからは備えてインフルエンザワクチンだけはしっかり受けることをお勧めします。少なくともワクチンの効果は5か月間はOKです。

佐々木 由美子「言葉」

梶井基次郎の短編『檸檬』に好きな言葉が凝縮されている。【「得体のしれない不吉な塊が私の心を終始おさえつけていた」・・・「一個の檸檬を購入してそれを握った瞬間から不吉な塊がいくらか弛んできて町の上で非常に幸福であった」・・・「心というのは何と不思議なことか」】檸檬と不吉な塊が交錯する。後半の展開に私は爽快にさえ思った。私も檸檬を購入して握ったり、かいだりして歩いてみたが心の不思議は何も起こらなかった。

川田 茂雄：『もどき』という言葉についての反省

私は、先月のもどきという言葉の発表に失敗しました。しかし工藤文夫さんは、見事成功されました。工藤さんのスピーチは、ご自分の経験と『もどき』から、『宴会部長』、『人間もどき』、等の言葉を連想されて工藤さんの宴会部長が人まね芸している姿がイメージ出来る程、上手くまとめられていました。結局、私が『まとめ』に失敗した理由は、自分の連想した言葉と自分の経験がイメージできる位上手く結びつかなかったからだと思います。

長嶋 秀治：「味覚」

9月末岩手、秋田、宮城にまたがる栗駒山に登ってきました。遠方のため初日は移動日で午前中は平泉の中尊寺周辺、午後は巖美溪周辺を散策しました。巖美溪では遊歩道の脇に栗が沢山落ちていました。拾ってみると小粒だがふっくらとして美味しそう。バスの時間に余裕があったので栗拾いに夢中になり3, 40個持ち帰りました。茹でたてをスプーンでほじって食べました。大変美味でした。



予告：1月 「船橋ユーモアスピーチの会」

1月11日（木）15時15分～ 船橋中央公民館 4階 第2集会室
ロングスピーチの代わり

全員で即題スピーチ

スピーチテーマ 「今年の抱負」、「自由題」、「失敗談」

